



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場会社名 日本製紙株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3863 URL <https://www.nipponpapergroup.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野沢 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 的場 宏充 (TEL) 03-6665-1111
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	524,876	△0.1	15,195	29.0	15,361	17.6	9,645	—
2019年3月期第2四半期	525,515	2.3	11,776	131.1	13,063	92.1	△6,028	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 8,005百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △2,944百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	83.35	—
2019年3月期第2四半期	△52.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,363,155	398,090	28.5
2019年3月期	1,390,814	395,343	27.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 388,502百万円 2019年3月期 385,158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,070,000	0.1	30,000	52.9	28,000	17.1	13,000	—	112.34	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	116,254,892株	2019年3月期	116,254,892株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	535,243株	2019年3月期	531,879株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	115,721,434株	2019年3月期2Q	115,727,980株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予測に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 四半期決算補足説明資料は、下記弊社ホームページに掲載を予定しています。
<https://www.nipponpapergroup.com/ir/library/>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続く中、政府の各種政策の効果もあり緩やかな回復基調が続いています。一方、米中貿易摩擦による経済への影響などが懸念され、先行きは不透明な状況でもあります。

このような状況の中、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高524,876百万円（前年同期比0.1%減）、連結営業利益15,195百万円（前年同期比29.0%増）、連結経常利益15,361百万円（前年同期比17.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,645百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6,028百万円）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

(紙・板紙事業)

洋紙は、新聞の発行部数減少や印刷用紙の広告需要低迷などにより、国内販売数量は前年同期を下回りました。

板紙は、天候不順などにより、国内販売数量は前年同期を下回りました。

以上の結果、連結売上高は359,992百万円（前年同期比1.0%減）、連結営業利益は3,644百万円（前年同期は連結営業損失2,538百万円）となりました。

(生活関連事業)

家庭紙は、ティシューペーパーやトイレットペーパーなどの需要は堅調で、販売数量は前年同期を上回りました。

液体用紙容器は、天候不順などにより国内飲料市場が低迷したことから、国内販売数量は前年同期を下回りました。

溶解パルプ（DP）は、中国などの海外需要低迷を受け前年同期を下回りましたが、機能性フィルムは中小型ディスプレイ向け用途が堅調で国内販売数量は前年同期を上回りました。

以上の結果、連結売上高は105,204百万円（前年同期比4.6%増）、連結営業利益は4,542百万円（前年同期比27.0%減）となりました。

(エネルギー事業)

エネルギー事業は、発電設備の運転日数が減少した影響や固定費の負担増などにより減収減益となりました。

以上の結果、連結売上高は16,256百万円（前年同期比10.8%減）、連結営業利益は3,156百万円（前年同期比27.0%減）となりました。

(木材・建材・土木建設関連事業)

木材・建材は、新設住宅着工戸数が弱含みで推移し、製材品などの販売数量は前年同期を下回りました。

土木建設関連は、一部工事の完工が前倒したことで等により売上高は増収となりました。

以上の結果、連結売上高は28,484百万円（前年同期比1.9%増）、連結営業利益は2,521百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末の1,390,814百万円から27,659百万円減少し、1,363,155百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が22,179百万円減少したほか、前連結会計年度末が金融機関の休日であったこと等により、受取手形及び売掛金が7,742百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末の995,470百万円から30,405百万円減少し、965,064百万円となりました。この主な要因は、前連結会計年度末が金融機関の休日であったこと等により、支払手形及び買掛金が23,291百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末の395,343百万円から2,746百万円増加し、398,090百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益による利益剰余金の増加のほか、円高により為替換算調整勘定が減少した

ことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の27.7%から28.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表しました通期連結業績予想を下記のとおり修正しています。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,120,000	30,000	28,000	13,000	112.34
今回修正予想(B)	1,070,000	30,000	28,000	13,000	112.34
増減額(B-A)	△50,000	—	—	—	—
増減率(%)	△4.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	1,068,703	19,615	23,901	△35,220	△304.34

(修正の理由)

当第2四半期連結累計期間において、円高や海外市況の悪化等により紙・板紙の輸出売上高が減少したことや、天候不順等により板紙の国内販売数量が減少したことから、売上高に関しては下方修正しています。利益につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ前回予想を据え置いています。

なお、上記の予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,455	41,276
受取手形及び売掛金	234,671	226,929
商品及び製品	87,025	88,153
仕掛品	20,518	24,160
原材料及び貯蔵品	70,351	68,275
その他	39,933	40,312
貸倒引当金	△550	△549
流動資産合計	515,407	488,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	504,094	503,803
減価償却累計額	△368,097	△371,126
建物及び構築物(純額)	135,997	132,677
機械装置及び運搬具	2,217,462	2,221,912
減価償却累計額	△1,930,080	△1,943,104
機械装置及び運搬具(純額)	287,382	278,807
土地	199,435	198,437
建設仮勘定	22,096	33,383
その他	73,376	74,643
減価償却累計額	△40,674	△41,134
その他(純額)	32,701	33,509
有形固定資産合計	677,613	676,814
無形固定資産	11,137	9,989
投資その他の資産		
投資有価証券	159,198	160,139
その他	28,160	28,358
貸倒引当金	△703	△704
投資その他の資産合計	186,655	187,793
固定資産合計	875,406	874,598
資産合計	1,390,814	1,363,155

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	145,132	121,841
短期借入金	224,227	202,510
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
コマーシャル・ペーパー	—	30,000
未払法人税等	5,156	3,472
その他	93,349	91,238
流動負債合計	477,866	459,062
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	401,474	389,622
環境対策引当金	14,780	14,652
退職給付に係る負債	13,776	13,562
その他	37,571	38,165
固定負債合計	517,603	506,002
負債合計	995,470	965,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	104,873	104,873
資本剰余金	216,414	216,414
利益剰余金	35,265	41,437
自己株式	△1,427	△1,434
株主資本合計	355,125	361,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,274	21,495
繰延ヘッジ損益	△2,283	△3,458
為替換算調整勘定	15,419	13,408
退職給付に係る調整累計額	△4,377	△4,234
その他の包括利益累計額合計	30,033	27,211
非支配株主持分	10,184	9,588
純資産合計	395,343	398,090
負債純資産合計	1,390,814	1,363,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	525,515	524,876
売上原価	424,790	421,234
売上総利益	100,724	103,642
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	32,399	33,167
販売諸掛	25,085	23,949
給料及び手当	17,664	17,513
その他	13,798	13,815
販売費及び一般管理費合計	88,948	88,446
営業利益	11,776	15,195
営業外収益		
受取利息	186	266
受取配当金	1,421	1,178
持分法による投資利益	5,046	2,335
その他	1,742	1,756
営業外収益合計	8,395	5,536
営業外費用		
支払利息	3,695	3,294
その他	3,413	2,076
営業外費用合計	7,109	5,370
経常利益	13,063	15,361
特別利益		
固定資産売却益	415	543
その他	177	80
特別利益合計	592	624
特別損失		
固定資産除却損	800	1,039
減損損失	1,197	919
生産体制再編成費用	16,753	—
その他	1,526	1,013
特別損失合計	20,277	2,972
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△6,621	13,013
法人税、住民税及び事業税	1,244	2,249
法人税等調整額	△2,952	△57
法人税等合計	△1,707	2,191
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,913	10,822
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,114	1,176
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,028	9,645

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,913	10,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,662	322
繰延ヘッジ損益	3,396	△89
為替換算調整勘定	△5,274	△2,518
退職給付に係る調整額	△671	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,143	△584
その他の包括利益合計	1,969	△2,816
四半期包括利益	△2,944	8,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,587	6,822
非支配株主に係る四半期包括利益	1,643	1,182

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しています。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	紙・板紙 事業	生活関連 事業	エネルギー 事業	木材・ 建材・ 土木建設 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	363,675	100,540	18,221	27,963	510,401	15,113	525,515	—	525,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,741	3,564	—	31,258	41,565	22,519	64,084	△64,084	—
計	370,417	104,105	18,221	59,222	551,966	37,633	589,599	△64,084	525,515
セグメント利益 又は損失(△)	△2,538	6,225	4,324	2,241	10,253	1,204	11,457	319	11,776

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業、レジャー事業等が含まれています。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	紙・板紙 事業	生活関連 事業	エネルギー 事業	木材・ 建材・ 土木建設 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	359,992	105,204	16,256	28,484	509,938	14,938	524,876	—	524,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,539	3,057	—	29,697	40,295	23,882	64,177	△64,177	—
計	367,532	108,261	16,256	58,182	550,233	38,821	589,054	△64,177	524,876
セグメント利益	3,644	4,542	3,156	2,521	13,865	1,205	15,070	124	15,195

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業、レジャー事業等が含まれています。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(重要な後発事象)

オローラ社 豪州・ニュージーランド事業の板紙パッケージ部門譲受け

当社は、豪州証券取引所上場企業であるオローラ社（正式名称：Orora Limited、以下「オローラ社」）との間で、同社の豪州・ニュージーランド事業のうち、板紙パッケージ部門（以下「本事業」）を譲受ける事で合意し、2019年10月10日開催の当社臨時取締役会で、本事業譲受けに関する契約を締結する事を決議しました。

(1) 当該事業の譲受けの目的

当社グループはパッケージ、家庭紙・ヘルスケア、ケミカル、エネルギー、木材の5つの事業を成長分野として位置付けています。特にパッケージ分野では、環境にやさしい素材として「紙」が見直される中で、原紙の生産から加工にわたるバリューチェーンの拡大に努めるとともに、国内外での設備投資やM&A等を通じて事業拡大の機会を模索していました。

オローラ社は、本事業において、独自の古紙回収システムから、最新鋭の段ボール原紙製造設備、高度に自動化された段ボール工場、パッケージング関連資材・サービスの提供に至るまで一貫して展開するビジネスモデルにより、豪州・ニュージーランドにおいて高い市場シェアを確立しています。本事業譲受けにより、当社はオセアニア地域において、一貫体制の段ボール事業に進出することとなり、当社グループのパッケージ事業のさらなる展開を推し進めていきます。

(2) 当該事業の譲受け先の名称、住所、代表者の役職・氏名、資本金の額及び事業の内容

- | | |
|-------------|--|
| ① 名称 | Orora Limited |
| ② 住所 | 109 Burwood Road, Hawthorn, Victoria 3122, Australia |
| ③ 代表者の役職・氏名 | Brian Lowe (CEO) and Stuart Hutton (CFO) |
| ④ 資本金の額 | 488百万豪ドル |
| ⑤ 事業の内容 | 紙パッケージ、ガラス、アルミニウムのパッケージと缶の製造・販売 |

(3) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする事業譲受けであるためです。

(4) 当該事業の譲受けの契約内容

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| ① 譲受ける事業の内容 | オローラ社の豪州・ニュージーランド事業のうち、板紙パッケージ部門 |
| ② 譲受け対価 | 1,720百万豪ドル |
| ③ 決済方法 | 現金決済 |
| ④ 日程 | |

(1) 臨時取締役会決議日	2019年10月10日
(2) 契約締結日	2019年10月10日
(3) 事業譲受期日	2020年1月31日（予定）